

田中あつお

2019~

熊本市議会議員 田中あつおの「これから4年間進めていく取り組み」についてご紹介いたします。



結果を出す政治 変わる未来

さらによくなる熊本市

応援していただける方を募集しています

熊本をより良いまちにするために、田中あつおは地域の皆さまからのご意見を取り入れ、さまざまな政策に取り組んでいます。田中あつお後援会では、この取り組みに賛同し、応援していただける方を常時募集しています。田中あつおを応援していただける方はぜひ後援会事務所までご連絡ください。支援者登録用の「田中あつおサポーターズシート」をお送りしますので、ご記入の上ご返送ください。ご意見やご要望等もお待ちしています。お電話またはウェブサイトよりお気軽にお問い合わせください。



田中あつお
後援会事務所

〒861-5512 熊本市北区梶尾町 305
TEL : 096-245-3421
FAX : 096-202-5146

田中あつお

大学時代に政治家への道を志す。社会人として2年間働いた後、25歳で熊本市議会議員選挙に立候補するも、惜しくも敗れる。その後、衆議院議員事務所で国政に関わり、一層政治へ携わる意志を固め、29歳のとき熊本市議会議員初当選を果たした。現在は、市議会議員として教育、福祉、環境に力を入れ、持続可能なまち実現のため活動中。

プロフィール

昭和52年8月20日生まれ 41歳
平成2年 熊本市立東町小学校卒業

平成5年 熊本市立北部中学校卒業

平成8年 熊本県立熊本北高等学校卒業

平成12年 熊本県立大学総合管理学部卒業
株式会社キューネット入社

平成15年 熊本市議会議員選挙に立候補
坂本哲志 事務所へ入社

平成19年 熊本市議会議員当選

平成23年 熊本市議会議員当選

平成27年 熊本市議会議員当選

主な役職

- ・熊本市立北部東小学校 PTA 副会長
- ・北部東校区まちづくり委員会事務局長
- ・熊本県立大学同窓会紫苑会代表委員
- ・熊本県立熊本北高校同窓会北辰会幹事
- ・消防団員

家族：妻、長女、長男、次男、の5人家族
座右の銘：天下為公・萬有愛護
趣味：読書、トランポリン（普及指導員）
特技：合気道初段、スポーツ吹き矢3級
尊敬する政治家：田中正造



「100年先まで安心で持続可能なまちづくり」

田中あつお基本政策

結果を出す政治
変わる未来
さらによくなる熊本市

田中あつお 理想のくまもと

赤ちゃんからお年寄りまで、障がい者や在熊外国人、LGBTQ+などのマイノリティの方々、誰もが今住んでいる地域で安心して暮らせる持続可能な優しい熊本を。



2019年～
4年間の
取り組み

健康寿命の増進や認知症対策

- かかりつけ医、かかりつけ薬剤師の推進による40歳からの健康づくりと維持の推進
- 幅広い世代での介護人材の確保
- 天草方式による認知症対策の推進
・ 脳いきいきサポーターの養成と通いの場実施
・ 2年後に希望する自治会でモデル事業を実施



北区の更なる発展と 住みやすい地域づくり

- 北バイパス・植木バイパス・西環状道路・中九州横断道路などの早期完成に向けた取り組み
- インバウンドを取り込む歴史・文化・農業・商業・飲食業を巻き込んだ北区観光ルートの実現
- 空き家化阻止のための相談体制の確立
- 助け合いの意識醸成と自助体制推進による災害に強いまちづくり
- 何かあったら「まちづくりセンター」へ、市民がいつでも何でも相談できる地域の絆づくりを推進
- 北区の持続可能な農業確立に向けてブランディングを推進

経済活性化策の推進

- 海外観光客（インバウンド）50万人を任期中に達成
- インバウンドの増加による若年者・大卒者の熊本での雇用促進
- IR（統合型リゾート）の誘致に向けた市民間の議論と合意形成
- 災害対策観光対策として道路などのインフラ建設の推進



AI・ICT×市民生活で 豊かな未来を創造

- 地域主義を推し進めるために世代内・世代間交流の活性化
・ 中学校区での而立式（30歳の同窓会）開催など
- ICT（情報通信技術）教育の推進
・ ICT活用により先生たちと子供たちが向き合う時間を更に確保
- 行政における民間活力の更なる活用
・ AI導入により事務作業の更なる効率化を図る
- 総務省の基準に則った「ふるさと納税」制度の活用、得た財源で子育て支援を拡充



子育て支援による少子化対策

- 保留児童ゼロに向けた保育士の処遇改善と資格保有者の再就職支援、柔軟な幼児教育補助の人材育成体制の構築
- 中学校3年生までの医療費月5000円の制度を実施
・ 1医療機関 薬代含め500円
- 幼児教育無償化体制実現に向けた準備



国際化の推進と対策

- 確実に進む国際化の推進、それによる弊害の緩和、Wi-Fiや多言語表記などの観光インフラの整備、整備財源のためのホテル税の導入
- 人材不足の解消と外国人労働者への支援拡充
・ 海外で成功しているパディ制度等の導入や多文化交流事業の実施等

